

一月定例県議会

一般質問で県を質す

佐々木県議は一月定例県議会(一般質問)において、1、信州千年の森構想(等)について、2、小水力発電の推進について、3、結婚支援について、4、リニア活用基本構想について、5、行政改革について、の5項目について、知事並びに担当部長に、今日の課題の現況や今後の取組み等について質した。

災害を防ぎ水資源を育む信州の森林を未来永劫美しく豊かな姿に保つ為に植栽サイクル再生の環境整備を進める

佐々木県議 知事は「信州の山 新世紀元年」と位置づけ、豊かな森林を守り育て未来に引き継ぐ為に、地域の林業産業の育成支援をしたいと言っているが、高度に集約化された林業には、高密度な路網が必要であり、先ず作業現場まで大型車両の通行や、高性能林業機械が活躍できる林内道路網の整備が必要と考えるがどうか。また、過去何回かの一般質問で、森の都信州とそれにふさわしい森林都市を目指した信州千年の森構想を提案させて頂いているが、林務部長にこの構想についてのお考えをお伺い致します。



林務部長 森林施設を集約して木材の生産性を向上させ安定的に供給する為に、林内道路網を高密度に開設することが不可欠と認識している。このため長野森林づくりアクションプランでは、平成22年度から32年度までに、林道、林業専用道を100km、これを補充する森林作業道を1500km開設することとしており、平成26年度においても森林整備加速化林業再生基金を活用し、高密度な路網整備の目標を前倒しして達成できるように取り組んでいる。

本県の森林は、災害を防ぎ水資源を育むとともに、様々な木材を生産する私達の暮らしにかけがいのない財産であり、先人達のたゆまぬ努力により、守り育てられてきたものである。信州の森林が千年先も美しく豊かな姿のまま残り、未来永劫にその姿を保つべく、森林資源を活用し新しく若木を植えて育てる、という林業のサイクルを再生し、この循環の仕組みにより川上から川下まで広く雇用が生まれ、若者がそこに参加することと県内各地が活かされる未来に努めて参りたい。

「自然エネルギー」地域発電推進事業を創設し小水力発電をはじめとした自然エネルギー発電事業を積極的に支援

佐々木県議 県の26年度予算案においては、土地改良区等が農業用水を活用し、小水力発電施設を建設する際の、県補助率が1%から5%に大幅に引き上げられる等、積極的な支援策が講じられておられるが、小水力発電の普及拡大をどの様に推進するのか。また土地改良区等が農業用水を活用して発電を行う場合、売電収入をどの様に活用するのか農政部長にお伺い致します。

農政部長 土地改良区や市町村が国庫補助により建設した小水力発電施設から得る売電収入は、土地改良施設の適切な維持管理を目的とし、揚水ポンプや水門の開閉装置の電気代に使用するほか、老朽化した農業用水路等の補修・補強といった長寿命化対策の費用に活用することができるとされています。上伊那地域では、市町村・土地改良区が共同で農業用水に於ける小水力発電の可能性について研究してきた結果、2箇所について採算性が見込まれ売電収入を揚水ポンプの電気代等に当てられることから、土地改良区が建設に取り組み見込みである。



環境部長 県でも自然エネルギーを普及拡大する上で、将来地域の自然エネルギー事業を担い得る、若者の積極的な育成は大変重要と考えており、来年度教育委員会と連携して「信州自然エネルギー」環境教育支援事業を創設し、県内の高等学校等を対象に、小水力発電をはじめとする自然エネルギー・環境教育を支援することとしている。また、来年度は自然エネルギー発電事業を特化した「自然エネルギー」地域発電推進事業を創設し、市町村や地域のNPO、中小企業等による、地域の自然エネルギー発電事業に対して積極的に支援して参ります。

信州の美しい自然と景観を活かし日本を代表するリゾートウエディングの敵地として情報を発信し国内外にPR

佐々木県議 長野県は豊かな自然や文化遺産などの観光資源が多くあり、観光と様々な産業やイベントを結び、地域の活性化を図ることが出来る。

駒ヶ根高原の「幸せの森」プロジェクトを見ると、思い出深いブライダル場の場として、高原全体を一つのステージとして様々な施設や借景により、幸せを感じる華式の場として提供し、若者から喜ばれて、地域の魅力を若者の視点でインベションし、県内各地のブライダル聖地において、「信州ブランド」としてブライダル産業を観光振興策に位置づけ、国内は勿論海外に向けてPRすべきと思うが、観光部長に所見を伺いたい。



観光部長 信州の美しい自然やイメージが、リゾートウエディングとして、北海道沖繩と並んで人気が高く、特に軽井沢では香港や台湾を中心に、ウエディング誘致に取り組んでいるし、駒ヶ根市では昨年度から「純白の結婚式」として打ち出し、中央アルプス千畳敷に台湾のカップルを招待し、大中市との友好交流に発展している。県としても市町村や事業者の皆さんと連携し、海外に於けるセミナーや商談会での情報発信やブライダルツアー関係者の招聘などを通じて、長野県が日本を代表するリゾートウエディングの敵地であることを、海外に向けてPRして参りたい。

リニア中央新幹線の開通を見据えて関係市町村の取組みと整合性を図り連携して地域振興の実現に取り組む

佐々木県議 リニア中央新幹線の整備は本県の南の玄関口として、その効果が県内に及ぶように、先ず地元である南信地域が一体となって取り組む必要がある。今回のリニア活用基本構想(案)では、県の玄関口としての地域の魅力づくりや新しいアイデア等、その表現が大いに期待される点であるが、今回の構想に当たってのアイデアや意見の取りまとめや、関係市町村等の地元としての意見や要望は、どの様に反映されているのか先ず企画部長に伺いたい。

次に、リニア中央新幹線を見据えた地域振興策を実現する為には、県はもとより関係市町村の主体的取組みが不可欠であり、各市町村の構想との整合性を図りながら方向付けをしていくことが必要と考えるが、このことも伺いたい。

企画部長 リニア活用基本構想の策定は、県内外で活躍されている企業経営者や学識経験者、観光関係者等の皆さんから、

地域の将来像やリニアを活かした地域活性化のアイデアを伺うとともに、自治体関係者、リニア建設促進長野県協議会を構成する県下各地の期成同盟会、経済団体、青年会議所等の意見を伺った上で、「案」として取りまとめ、関係市町村の意見は伊那谷自治体協議会、或いは各地の期成同盟会等の意見を伺い、構想案の中に取り入れさせて戴いた。また、南信州広域連合が策定した「リニア将来ビジョン」、或いは伊那谷広域連合が策定した「地域将来ビジョン」との整合性を図りながら取りまとめ、過日の伊那谷自治体協議会においても、基本構想の内容について賛同戴いたところであり、今後の具体化に当たっては伊那谷自治体協議会を中心に、関係自治体と連携し、方向性を共有しながら地域振興に取り組んで参りたい。

新たに庁内に「地域振興課」を設置し現地機関が主体となって地域振興策を展開できる体制の整備を図る

佐々木県議 この4月より組織改革により企画振興部内に「地域振興課」が設置される。リニア中央新幹線を見据え地域振興に限らず、地域振興は現地機関が主体となっていく必要がある。また、庁内組織の見直しを踏まえて、将来現地機関の見直しはあるのか知事の所見をお伺いしたい。更に、新年度より、県民文化部の新設に伴い、「文化政策課」が設置されるが、県内各地に於ける文化振興はこの「文化政策課」が行うのか、先程の「地域振興課」が行うのか、それ以外の所管について、文化の対象や範囲について、総務部長にお伺いしたい。



阿部知事 新たに本庁に設置する「地域振興課」は、市町村あるいは地域の皆様方の声を第一に、地方事務所の課題で本庁各部にまたがるものについては、本庁内で総合調整を行うことで、現地機関が主体的に地域振興策を展開できる体制を整備して参りたい。

現地機関については、前回の改正から5年が経過することから、各機関に於ける課題を見極めつつ、今回の改正を踏まえた本庁と現地機関に於ける業務のつながりや、業務の円滑な執行体制、市町村への影響などについて調査・検討を行って参りたい。

総務部長 文化政策化が担う文化は、文化・芸術の振興であり、文化財保護業務については、文化財保護法の位置づけから、引き続き教育委員会が行う。県内各地域の文化振興については、一概に言えないが、地域の伝統文化の継承支援などは文化政策課、これを活用した地域振興については、地域振興課が担う。